

## 2023 年度 卒業後（卒業生）調査 実施結果報告 1

長野女子短期大学では、2022 年度より本学の教育およびキャリア支援のさらなる充実を図るため、「卒業生のキャリアに関するアンケート調査」を実施しています。2023 年度は 2021 年度卒業生の方を対象に調査を実施し、8 名の方から回答をいただきました。その結果の概要を公表いたします。

### ■調査概要

- ・調査対象：2021 年度の本学卒業生 54 名
- ・調査方法：卒業生の現住所宛にアンケート実施の通知はがきを郵送し、Web 上での調査回答を依頼
- ・実施時期：2023 年 8 月 1 日～8 月 31 日
- ・回答者数：8 名（回答率 15%）

現在も卒業時から同じ職場で継続して働いていますか？

- ・はい…75%
- ・いいえ…25%

卒業後、新たに行動を起こしましたか。

- ・資格を取得した…0%
- ・進学した…0%
- ・その他…0%
- ・回答なし…100%

大学で学んだことが現在も役立っていますか。

- ・はい…100%（具体的内容：療育園で幼児向けの給食調理をしており学校で学んだ知識や技術が必須となっている。大量調理に少しでも対応できるようになってきている。離乳食やアレルギーの勉強が身内の子供の離乳食の時役に立った。学んだ専門知識が現場で活かしている。問題が発生した時に学校で習った基本を思い出せば解決策が見つかる。など）
- ・いいえ…0%

後輩に向けてのアドバイスがありましたらお願いします。

- ・発注や在庫管理や調理など様々な仕事を臨機応変にします。また立場の異なる人ともお互いのことを考えながら働きます。自分の目標や軸を持てるようしっかり学んでください。

### ■まとめ

本調査にご協力いただいた卒業生の皆様に感謝申し上げます。卒業生全員の皆様からの回答は得られませんでした。ご回答いただいた多くの皆様が、本学での学びを生かして就業されているご様子が分かり安心しました。本学の教育のさらなる発展のためにも、今後ともご協力賜りますことをお願い申し上げます。

## 2023年度卒業後（卒業生）調査実施結果報告 2

長野女子短期大学では、卒業生の就職先からの聞き取りにより、ディプロマ・ポリシーの達成度を評価し、教育の成果を検証しています。それにより在学中に身に付けさせる学力や技能について、具体的な課題を見だし、今後の教育の向上に資することを目的としています。

その結果の概要を公表いたします。

### ■調査概要

- ・調査対象：卒業生の就職先
- ・調査方法：
  - 1, 就職先の、採用担当者様からの聞き取り（担当：進路指導課）
  - 2, 就職先の、栄養士・管理栄養士様からの聞き取り（担当：食物栄養学科教員）
- ・実施時期：2023年4月1日～2024年3月31日
- ・回答施設数：38施設

### ■結果

- ・本学の卒業生に対して、細かい事に気が付き、動きが良いとの評価がある。
- ・管理栄養士を取得し、現場経験がある指導者として活躍していて、頼りにしている。
- ・調理が好きで、対象者への気配りのできる栄養士として活躍している。
- ・栄養の知識、衛生管理、調理技術を修得して卒業させてほしい。
- ・栄養を指導する管理栄養士は少なくても良いが、献立作成、発注、調理、衛生管理、食札管理をする栄養士は多く必要である。
- ・栄養士を多く採用したいので、就職説明会を早めた。
- ・短大卒を採用したい。長く働いてほしいからである。
- ・結婚、妊娠、出産、介護等で産休、育休、退職の欠員が出る。その補充の需要も多い。
- ・栄養士は、栄養、病態、健康、衛生、料理など、知識の幅が広いので、老人福祉施設での需要が増えている。
- ・レストラン、社員食堂など、外食産業では、健康づくりを取り入れたメニュー提案の評価が高い。
- ・疲れを癒やす環境づくり、健康的な食べ方の提案の要望にも応えている。
- ・エネルギー、脂質、塩分の表示や、健康と栄養に関する豆知識の掲示など、生活習慣病予防に繋がる重要な役割も担ってもらっている。
- ・料理教室の講師ができる人が欲しい。

### ■まとめ

本調査にご協力いただいた卒業生の就職先の皆様に感謝申し上げます。

今後も、この聞き取りを活かし、栄養士コアカリキュラムに則り、教育活動に邁進したいと存じます。今後ともよろしくごお願い申し上げます。